

公共交通ニュース vol. 27 2015. 4. 24

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

飯能駅が開業100周年となりました

飯能駅が去る4月15日に開業100周年を迎えました。大正4(1915)年4月15日、武蔵野鉄道(現在の西武池袋線)が池袋と飯能の間を開通したことから、飯能駅の歴史がスタートしました。飯能駅開業当時の駅は、池袋、東長崎、練馬、石神井公園、保谷、東久留米、所沢、西所沢、狭山ヶ丘、入間市、仏子、飯能の各駅とのこと。4月12日(日)に開催された「飯能駅開業100周年記念セレモニー」では、この12駅の懐かしい写真が展示されました。

飯能駅の開業とともに、飯能のまちは産業が発展し、人口も増えました。そして、飯能駅から吾野方面、秩父方面に鉄道が延伸されていくなど、飯能駅は本市の発展に欠かせない役割を担ってきました。また、駅と地域を結ぶための移動手段として、路線バスが運行されました。本市の路線バスは、飯能駅を起点に各地域を運行しており、バスがなければ、外出や中心市街地に出かけることもできなかったことと思います。

鉄道は、市民、観光者への移動手段として、そして、本市の今後の更なる発展のためにも欠かせない大切な地域資源です。引き続き市民の皆様のご利用をよろしくお願いいたします。

飯能駅では現在、「飯能駅のおもいで」写真展を開催しています。ぜひご覧ください。また、飯能市郷土館では、10月11日(日)から12月13日(日)にかけて旧武蔵野鉄道開通百周年を記念した特別展を計画しています

大正4年4月18日
武蔵野鉄道開通式
の写真



4月12日の開業
100周年セレモニー
でのレイルくん、
スマイルちゃん、
夢馬くんのお出迎え
の様子

5月3日(日)はお散歩マーケットです

山間の集落にある黒指・細田地区で、家々の軒先に山菜や季節の農作物や手づくり品が並ぶ「春のお散歩マーケット」が5月3日(日)(時間:9時~16時)に開催されます。春の日差しがあふれる山あいの景色の中、お買い物やおしゃべりで地元の人とのふれあいをお楽しみください。なお、会場には駐車場がありませんのでお車でのご来場はできません。

里山の雰囲気を楽しめる国際興業バスをご利用ください。

特に、この地域を運行している「間野黒指線」の利用者は少なく、この「お散歩マーケット」は路線の維持確保に大きな役割を果たしています。会場までは、飯能駅北口1番乗り場 国際興業バス「間野黒指行き」に乗車いただき、終点「間野黒指」で下車してください。当日は、多くの方を会場までお運びするために、臨時バスも運行します。安心して、飯能駅までお越しください。

なお、臨時バスの時刻については、国際興業バスホームページをご確認ください。

※公共交通ニュースは地区行政センター
及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
総合政策担当